

## ボランテイア180人が参加

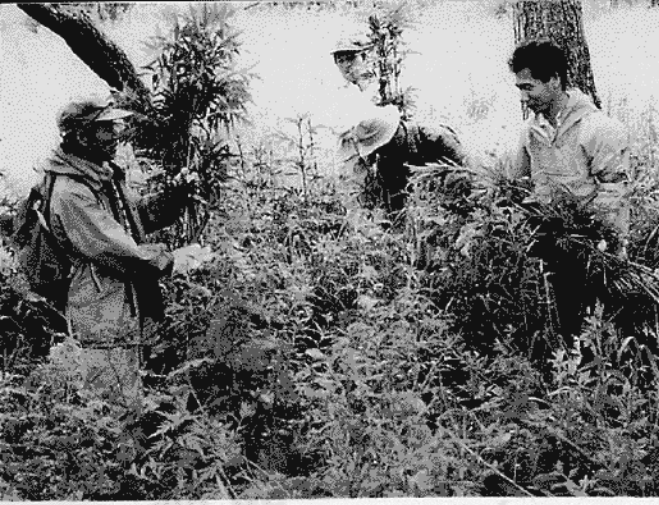
### オオハンゴンソウを除去

奥日光戦場ヶ原で七月十日、貴重な湿原植物の敵オオハンゴンソウの除去作業が行われました。

自然を守る会、栃木県植物同好会など十八団体の百八十人が参加し、一本一本抜き取っていました。

オオハンゴンソウは、北米産の帰化植物で、繁殖力が強く、放置しておくくと、湿原植物を絶滅される恐れがあるため、花が咲き、種子を落とす前のこの時期に毎年実施しています。

オオハンゴンソウを近くで見つけたら、抜き取るなどして除去してください。ハンゴンソウ（葉の切込みが浅く、葉のつけ根が赤紫色）やヨモギ（葉の裏側が白い）などと似ていますが、間違わないよう注意してください。



オオハンゴンソウの葉と花



## 中南米のチョウが勢ぞろい 郷土センター郷土資料室

夏の企画展「中南米のモルフオウ・フクロウチョウ展」が、日光郷土センター郷土資料室で開かれています。

ボリビア、ブラジル、コロンビアなど八か国から採集された百十九匹が、採集の様子を示したパネルとともに展示されています。八月二十四日中でも貴重なものは、グアテマラ産のオクタビアモルフオウ。日本には数匹しか見本がないといわれるものです。同展は、八月三十日まで。水曜日休館。

## 非行のない街を！

### 表参道でPR

七月六日、日光保護司会（千田孝信会長）のメンバーなど三十人が参加し、非行のない街にしようとして街頭PRを行いました。

七月が「社会を明るくする運動」青少年を非行から守る強調月間の一事業として実施したもので、表参道と総合会館前で「防ごう非行助けよう立ち直り」と書かれたコスモスの種子やリーフレットなど三百袋を配布。道ゆく人に「明るい非行のない街にしましょう」と声をかけていました。

